



とよおか

# 議会だより

第 5 号

平成11年10月22日

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷(株)



“鬼面山の頂上直下にて”

## 9月定例会

9月定例会から .....	2～3
補正予算の質疑から .....	4～5
10人の一般質問 .....	6～12
最近の活動から .....	12～13
常任委員会だより .....	14～15
当面する重要課題から .....	16



簡易水道では、下水道の普及に伴い、需要増が考えられる中で、北部簡水の設備工事、水道管の布設替工事などがあつた。

下水道では林里の浄化センター三槽目が二年がかりの工事で行なわれている。平成十年度の水洗化率は、公共下水（林里処理

**簡易水道・  
下水道特別会計**

**国民健康保険・  
老人保健  
特別会計**

減少傾向にあつた若年層の加入者が、平成九年度より景気の低迷をうけ増加傾向にある。これは世間のリストラなども影響している。被保険者が増えたその影響で一人あたりの医療費は減つた。

老人保健についても受給者が増えた。医療費は約一割の増加であつた。高齢化率の上昇に比例して受給者も増加している。

場地区)七一・八%、農集排伴野地区九六・六%、河野地区九二%、村全体では八四・七%となつた。



**の 議 会 9 月 議 会 9 月 議 会 9 月 議 会**

改選後初の決算議会で、村長も議員も顔ぶれが変わつた中で新鮮な討論がされた。

やはり改選により顔ぶれが変わるといふことは必要なことではないか。

決算審査と同時に補正予算も審議された。今回は六月の豪雨災害や、その後におきた災害の復旧関係やチャイルドシート補助などの補正があつた。

補正予算審議についての審議の仕方は、今までは予算特別委員会での日のうちに結論が出されたが、それではまずい、やはり委員会に付託し、初日に出されたものは最終日に結論を出すべきだとの意見も出された。

いろいろな意見が出たが、今までどおりやっていくというところで結論が出た。

その他今回の一般質問は十名が行なつた。六月議会では十二名が行なつており、新人議員はほとんどが行なつていない。

質問の内容も多様な内容でいろいろな角度で行なわれていた。とにかく改選直後で、議会の中と活動内容も活性化しており緊張している。この九月議会終了後は行事も多く、各委員会視察研修もありいそがしい日々が続きます。



建設中の林里下水処理槽 (第3基)

**平成10年度決算認定  
大型事業終了後 今後の事業推進へ**

**「1つ1つの事業の成功を**

**決算特別委員会から**

**一般会計**

この四月に村長選・村議選が行なわれ、執行者も変わり議会の顔ぶれも変わった。今決算は昨年度、前松村村政時代の決算の審査です。

平成十年度の決算の状況については、庁舎建設や保育所、保健センターなどが九年度に終了しており、大型事業がなかったため、決算規模は前年を大きく下回つた。

昨年度までの大型事業については積立金を使用しての執行であつたため財政的には大きな影響はなかったが、今後は大型事業についてはこういった積立金も少なく、しっかりと財政見通しがないと苦しくなる。

なお自治体の財政の指標(物差し)となる経常収支比率は一%増の六十二・一、財政力指数は前年と同だが、公債費比率は〇・四%増の十二・七となつた。

衛生関係では生ゴミ処理器に補助がつくようになり購入家庭も増えている。

松くい虫対策では不用額がかなりあつたが、県の内示がおり次年度の事業となつてしまつたとの説明であつた。

また教育関係では村民体育館のトイレの大改修などがあつた。

前年度を大きく下回り、三七億円の決算額となつた。昨年より議会事務局が設置され議会活動の充実につながつていく。

屋内ゲートボール場も完成したが利用者が少なく、これから利用者を増やしていくかが問題となる。

また来年四月より始まる介護保険用の電算化も計られた。福祉関係では車椅子で降り降りできるリフト付の軽自動車を購入された。



平成10年度建設のスポーツ館



# 予算特別委員会 審査の質疑から



改築前の南小体育館

## 南小学校体育館 全面改修へ

南小学校の体育館についても傷みが激しく当床の部分と建具を中心に改修する。これは前回の補正予算委員会でも七百九十万円が補正された。今回総務委員会等で再三検討をする中で、天井、横壁等含む全面的改修をする。十年位は使用出来る様に今回追加補正で設計工事を含め、二千二百五十万円を補正す

## 中学校体育館の 実施設計予算化

中学校の体育館については老朽化が進み、前回の予算委員会でも検討を重ねた。現段階での計画では、約六億円位必要とのことで、補助金、起債等財政的見通しがたかなければと云うことでしたが、有利な補助金等明確い見通しがある中、今回実施計画を含む設計委託料として千五百六十万円を予算化する。

## 福祉 タクシー券 大巾追加

福祉タクシー券については、当初予算七百万円を、三百万円追加補正するものである。お年寄りの

特に中山間地域の皆さんには良いことであると思われる。今後は、利



豊丘太鼓発表風景

## 介護保険認定申請始まる

十月一日より、介護保険認定申請の受付事務が始まるので、それに伴う予算の補正をする。介護保険費で三百十七万六千円を追加するもので、来年四月実施に向けて調査、ケアプラン等書類作成へ急ピッチで取り組

## 福祉医療費大巾延びる

福祉医療費の補正は七百万円追加するものである。内容については、重度身障者の医療費が、前年に対して倍以上となっていること、あわせて対象人数も増加している関係もあり、大巾に増加したものである。しかし、今後、介護保険が施行されればこの医療費も減少される見通し。

## コミュニ ティ事業 補助で太 鼓を購入

この事業は、豊丘太鼓として太鼓クラブ

が発足、その事業へ宝くじの補助金二百五十万円と村費補助二百三十万円を加え、四百八十万円で大太鼓等器具を購入する。

## 小園新住 宅団地へ 有線を設 置

小園新住宅団地の関係者八戸へ有線放送の設置が出来よう、村費負担分百一十萬三千円を補正する。

## 県補助金で コンバイン導入

この事業は、県の中山間地域特別農業農村対策事業の補助金で、村を経由して関係事業団体へ支払われる。村の上乗せ金額六十六万六千円と、県補助金百六十万円の合計で二百二十六万六千円を交付する。

## 村民グラント駐車場 予算付けなる

多くの要望があった村民グラントの駐車場について、一千万円の予算で建設されることとなる。これにより、約三十台の駐車が可能になる見込み。



県補助事業で導入したコンバイン



義務化されるチャイルドシート

## 有害 鳥獣防除 対策に 補助金

この事業は、近年シカ、イノシシ等の被害が多く、その防護網の補助である。特にシカの被害については、豊丘一村だけの問題ではなく各町村大変こまっております、自然保護、動物愛護等の関係もあり、なかなかむずかしい点もあるが広域的に取り組みをし、関係機関へ要請していく必要がある。

## チャイルドシート 購入者に補助金が

平成十二年度から六歳未満の乳幼児にはチャイルドシートを使用することが義務化された。

そこで、親の負担を少しでも軽減するため、購入者に補助金を出すこととなる。補助額は、購入額の半額としその額が一万円を超える場合は一万円を限度とするもの。全体では五百人分、総額では四百五十万円余が計上された。詳しい内容や具体的な手続きは住民課にお問合せください。



# 一般

## 一

てゆく姿勢があるか  
 三、豊丘村民の特養建設の意志にどう応えるか  
 村長 南信州広域連合では特養新設については、「各市町村が単独の責任で作る」「利用は広域で利用」する事が覚書きで決まっています。従って  
 一、財政援助は別として、協力支援してゆく考えはある。

二、財政援助は松川町、高森町の特養は利用しているが、財政援助はしていないので、又高森町から「特に要請もないし」援助は出来ない。  
 三、豊丘村への特養建設は、南信州広域連合の中で決めてゆくことであるので、現在の所考えておりません。



問われる公共施設工事の発注

### 質 今後は分離発注方式とするのか

#### 答 最小の経費で最大の効果を考える

筒井卓徳

質問 工事の請負契約は今まで一括請負の方が経費率が低くなる、工程管理ができる技術力と手間が役場がない、完成品に対する責任が明確である。等の理由で一括請負方式としていたと思う。今後は分離発注方式とするのか。  
 村長 私になってから設備業者や電気業者から分離発注を強く望む、という申し出があったが行政といえども「最小の経費で最大の効果を上げる」という原則は曲げられない。その都度どういう形がいいのか、行政の原点で検討し進めたい。  
 質問 今議会の重要案件である決算書認定の議案書が審議直前大幅差替えとしたが、この不祥事をどのように思っているのか。  
 村長 今回のことはお詫申し上げる。今後は改めてゆく。  
 収入役 (決算書作成の責任者

として) 深くお詫申し上げたいと思います。  
 質問 庁内の意志決定のプロセスと統一がきちんとしていないと、一番困るのは職員であり、村民が困ります。今後どのようにしてゆくとつもりですか。  
 村長 課長会は毎週もっているが、係長も一緒に会議を持つ必要があるのかと思う。回数も増やして意志の統一を図って参りたい。  
 助役 指摘されました庁内の意志統一が欠ける点、このことは私の力不足でたいへんご迷惑をかけています。今後は十分配慮するなかで取り組んで参ります。  
 質問 監査委員の意見についてどのように対応するのか。  
 収入役 監査委員の意見を重く受け止め部下を指導してゆきたい。



高森町の特養建設予定地

# 質問

# 質

### 質 特別養護老人ホーム建設意志は近隣にできるのと考えていない

福澤幸雄

質問 高森町特別養護老人ホーム新設について、南信州広域連合は県と国に対して協議に入事を了承したと、当初より縮小して六十床と計画案が示されたが、これからの広域福祉医療体制

を申し上げます。

一、広域連合の特養新設の考えは決まっているが、特に高森町

の協力要請のある中で豊丘村の対応は

### 質 ゴミの収集箇所をふやせないか

#### 答 今後検討していきたい

片桐秀人

ス・ダイオキシンは確認できるものはしてはいる。  
 質問 デイサービス利用者で介護保険の認定外と予想される人数とその対策はどうか。  
 村長 現在利用者百八十人弱でその内三十六人二〇%が認定外と予想される。来年四月以降は生きがい型デイサービス事業などの対策が必要と考えている。  
 質問 議員の各種執行事業の委員委嘱は、立場が不明確となるので極力さけるべきではないか。  
 村長 審議機関である議員委嘱は好ましくない面もある。議会の行政執行に対する監視や批判、議会本来の使命を侵すことのないよう範囲や人数について、慎重に考えていかなければならないと考えている。



リサイクルされる資源ゴミ

この度の補正予算で交通弱者の対策として福祉タクシー券に三百万円追加され今年度分一千万円、来年度は年間千三百万円となり約二倍近い予算となり、この対策を要望して来た者として感謝申し上げます。  
 質問 ゴミの分別収集と清掃費の節減について、①ゴミの収集量はどうか推移しているか、②分別収集の協力で村費節減はできるか、③収集箇所回数をふやせないか、④有害ガス・ダイオキシンの問題はどうか伺います。  
 村長 ゴミの量は全体的には減少の傾向にある。収集場所、回数をふやしてほしいとの要望については今後検討していきたい。そうすると委託料等も増加するので節減も限度がある。有害ガ



# 質 問

## 質 松くい虫防除と治山対策は 実態を探求する中で推進する

吉川 玲

質問 松くい虫被害については平成五年ころより村内に発生が始まり、南の喬木村境より徐々に北上し、被害は年々増加をしています。

六月末の集中豪雨において、松くい虫被害地帯に山の崩落等の災害が多発しました。本村のような急峻な地形に松林の多い地帯に於ては、今後大災害の発生が心配されます。災害防止のために治山事業を積極的に取り入れるなど、松くい虫防除対策の抜本的な方法を早急に考えるべきと思いますが、

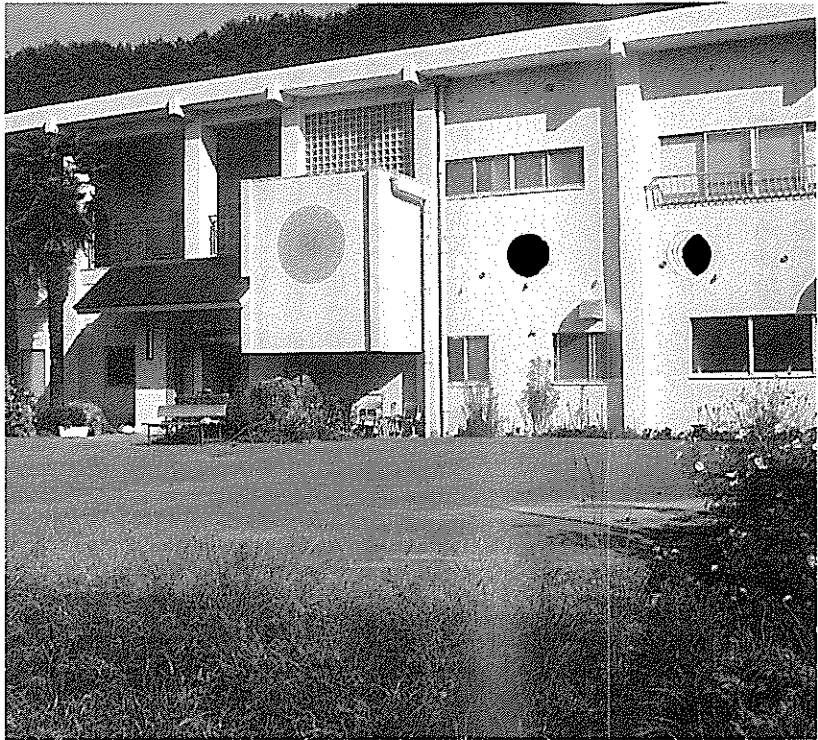
六月議会に区長会より空中散布による防除の陳情が出さ



松くい虫被害の進む村有林

## 質 温泉開発と宿泊施設建設の研究を 第四次振興計画で検討も

田中 實



村内唯一の宿泊施設「老人憩の家」

質問 阿智村に昼神温泉が開発されて以来、飯田下伊那地方には随所に温泉が湧出し、健康増進につながる施設として、近隣町村の施設に多数の村民の方が利用しており、豊丘にも温泉付宿泊施設が出来ればと思います。高齢化社会が進行する中で核家族化と家庭環境の変化により、

湧出しています。建設には莫大な資金が必要となりますが、しかし財政の厳しい人口の少ない町村でも、振興策として開発しているのです。村内にも湧出可能な所があれば答えていただきたい。中山間地帯の開発につながる適地、豊丘の自然を生かしながらの研究を、民間の力を合せて進めてほしいと思います。村長 温泉をメインとした宿泊施設に期待をもっている住民は、

# 一

質問 図書館建設については現時点では計画もありません。建設がこれから先具体的に話に上がったとしても、現実 completionするのはまだまだ先です。

私はいま現在ある図書館から、村民が使いやすい充実したものにしていかがが大事であると思う。利用者のあいだから『利用しづらい』『あまり行きたくない』こういった不評がありません。

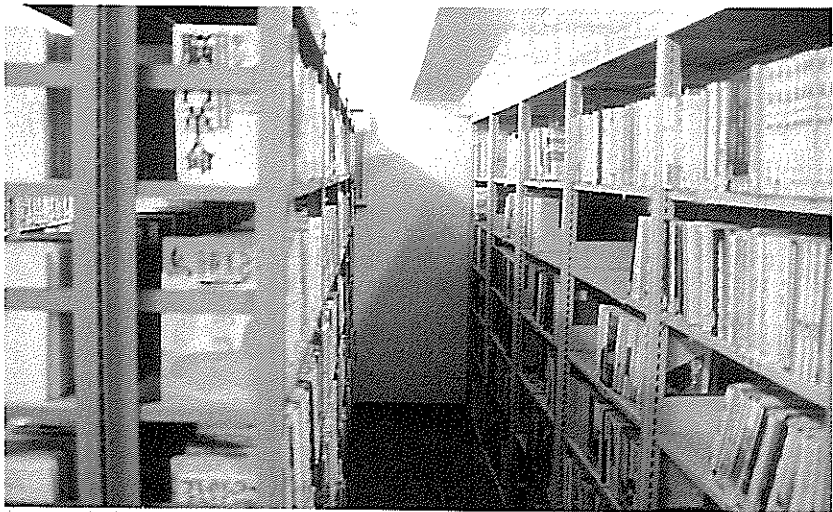
大きな理由として、本の貸し出し方式、カードに自分の名前を書き込まなければならず、何年も名前がのこってしまう。これはかなり時代おくれ。あと、暑い、寒い、暗いなどの環境、そして本の貸し出し、返却などがあるが、村長および教育委員会

## 質 今ある図書館の充実を 答 今後考えていきたい

前 沢 光 昭

の認識と今後の方向は。村長 大きな投資は考えていない。本の貸し出し方式についてはよい方法があれば変えて行きたい。環境についても工夫したい。旧庁舎跡地の整備についても図書館のことは考慮に入れていきたい。

教育長 貸し出し方式についても、コンピューター管理も将来考えたい。学童保育の実現を質問 共働きが増え、子供だけで放課後を過ごす家庭が増え、必要性も大きくなっている。国の制度も変わった。村として調査・研究は。村長 前向きに考え、教育委員会でもアンケートもとる。住民課長 具体的に検討中。



福祉センター横の図書館



# 一 般

# 質 問

# 問



対策が急がれる鳥獣被害

## 質 有害鳥獣は駆除と防除で削減を 答 安心して生活できる制度を考える

北 澤 貢

質問 近年山間地を中心に有害鳥獣の被害が増えている。場所によっては全滅の所も見られる。毎年こういったことが続くと耕作の意欲もなくなり、荒廃地も増える。この現状をどう思われるのか。近隣町村、広域との連携、県にはどのような対策を求めているのか。さらに村として有効な対策を考えているのか。生息調査でも鹿の頭数が増えている。駆除には限度があり、駆除により頭数を減らすことが有効な手段と考える。猟友会の補助金を増やしてさらに協力してもらおう考えは。

防除方法で新しい装置があり効果もあると聞く、来年度から導入し助成していく考えは。

村長 中山間地における有害鳥獣の被害が生産意欲をなくすほど、場所によっては被害を受け

策としては、生きがい対応型デイサービス事業を検討している。村内の三ヶ所くらいの使い易い施設を活用して実施していけるのではと考えている。

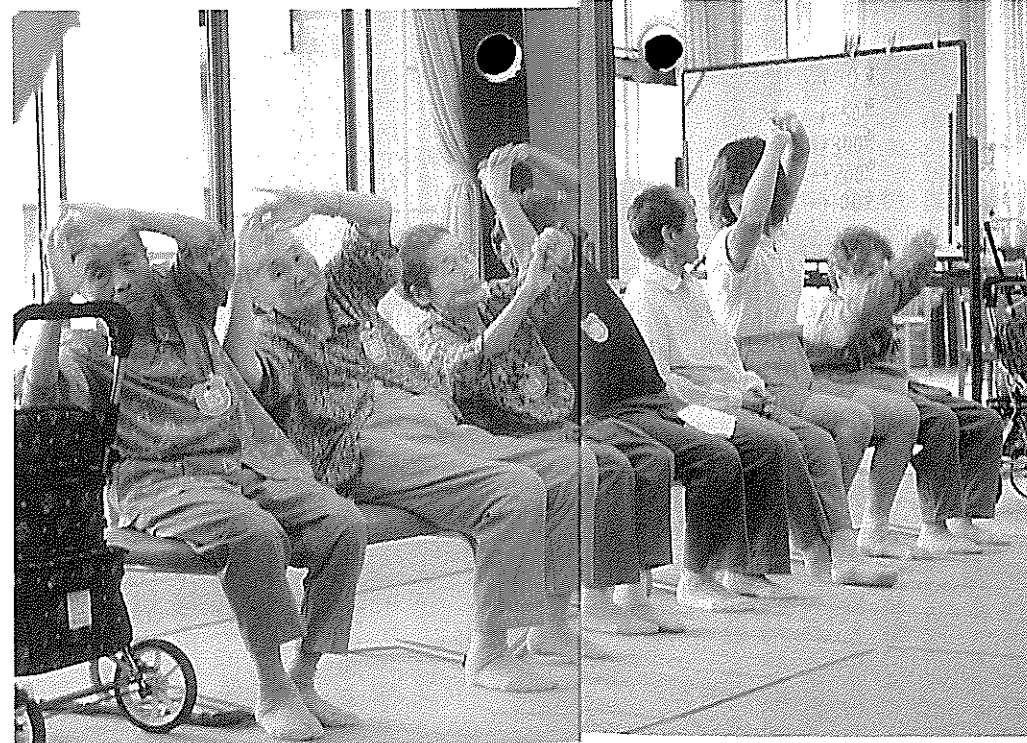
奨学金貸与規則の改善について

質問 この制度をもっと利用し易くするために、所得制限の緩和、他の制度との併給禁止条項の撤廃、貸与額の増額が必要と

考えるが。

教育長 この制度は、補完的なもので、経済的困窮家庭が対象であり、所得基準を設けている。併給禁止は他町村でもそうしている。貸与額は疑問ではある。

村長 子育て支援ということでは、子育て支援ということができるだけのこととしてはいいが、財政的な面もあるので補完という形で考えていきたい。



デイサービスセンター「ほほえみ」のお年寄

質問 介護保険で「認定もれ」となるデイサービス利用者やホームヘルプサービスの利用者の対策が急務である。村内の施設を活用してのデイサービス事業を、「認定もれ」者を対象に実

施するとともに、ホームヘルプサービスにおいても、家事援助を中心としたサービスの提供を村独自の施策として展開することが必要と考えるが。

村長 この制度によって逆に

唐 澤 啓 六

## 質 介護保険認定もれ対策は 答 村の独自施策を検討中



北小学校運動会の様子

質問 村の安定した財政運営を図るには、自主財源の確保と、経費の節減を行う必要があります。第一として、村内には多くの公共施設があります。その公共施設の見直しをすることです。すなわち、必要な施設が無駄な施設かをみきわめ他の施設へふり向けていく必要があります。一度建ててしまうと、なかなか地域的や人間的感情があり、実際にはむずかしい事とは思いますが、思いきって実施すべきです。私が考えると、たとえば二校の小学校、スポーツ館等を見直す施設であると思います。村には文化的施設が少なく、図書館や美術博物館、文化会館等必要な施設が不足しているため、それらの施設に切り替えて行っ

## 質 既設公共施設の見直しの検討を 答 当面は現状で考えている

池 田 祥 明

たらと考えますが。

村長 たしかに、見直すことは必要な事とは思いますが。議員が言われた両施設は、まだまだ新しく、特に小学校に於いては、それぞれ特長ある運営を行っており、小学校は小学校として生かす方向で考えたい。又スポーツ館についても、もっと多目的に利用できる様考えていきたい。教育長さんについても同様な意見であった。

尚、文化的施設、図書館や美術博物館、文化会館等については、建設の目処ができる時期になれば、別途に旧役場跡地等で考えていきたい。

「認定もれ」がでてくることは福祉の後退である。この対策は介護保険事業計画、老人保健福祉計画策定懇話会で検討してもらいたい。

住民課長 国の事業である「在宅高齢者保健福祉推進支援事業」では、「生活支援事業」と「生きがい対策」が大きな二つの柱である。「認定もれ」者への対

# 一般質問



関心高まる介護保険料

## 質 介護保険の実施に伴う村の対応 答 利用料、村独自の減免は考えない

下平豊久

質問 (一)豊丘村には約二百五十名の要介護認定者がいるわけですが、広域連合で行われる介護審査会の二次判定へ、要介護者は勿論その家庭の実情等を総合的に判断した正確で適切な意見書を提出し正しい判定をするうえで、訪問調査を担当する調査員とケアマネージャーの果す役割が大変重要と思えますが村での確保や研修の現状はどうか。

(二)豊丘村では、デイサービスで約三六名、ホームヘルプサービスで約二一名が自立判定され要介護認定もれ者が予測されますが、「在宅高齢者保健福祉推進支援事業」の導入等村独自の福祉サービスを提供する考えは。

(三)介護保険料と介護サービス利用料ですが、六五歳以上の第一号被保険者の場合、約二千五百円の保険料に加え一割のサービス利用料の支払いとなり現より負担増が考えられます。利用料等が高いためサービスが受けられない事例があったはなりません。村独自の介護保険料とサービス利用料の減免制度を創設するお考えはありますか。

村長 訪問調査は、調査員三名に補助者一名の四名、ケアマネージャーは三名に加え二名の臨時職員を採用し五名体制とする。認定もれ者に対する対策は、現在実施しているものは継続させたい。生きがい対策や家事援助など独居老人への配慮は実施状況をみながら考えていきたい。介護保険料等については、まだ未確定部分もあるが、基本的には、利用料の上限制度もあるので介護保険の枠内で対応し村独自の減免制度は考えていない。

## 社会委員会

### 一、岐阜市リサイクルセンター

岐阜市のごみ処理は、普通ごみ(無料)、ビン・ペットボトル、缶(無料)、粗大ごみ(有料)の三方式に大別される。平成九年三月に完成した市の

### リサイクルセンター&特別養護老人ホーム

リサイクルセンターは、一日当り缶二十個、ビン二十八個、ペットボトル二つの計五十個の処理能力である。毎週一回地区毎のゴミステーションへ出せば回収されるシステムになっているが、キャップは少しや、内部洗浄のルールが十分守られていない。市では、ごみ出しルールを守るだけでなく、使い捨てから資源循環型社会への転換を目指して、ごみ減量大作戦(三R作戦)「減量(リデュース)・再使用(リユース)・再生使用(リサイクル)」を各地区へ出向いての出席講座等で行い意識の向上を図っている。

## 視察行われる 活動から

## 委員会の研修 =最近の

### 二、特別養護老人ホーム「サンタ・マリア」

奈良市にあるこの施設は、社会的な事業を展開している。会福祉法人カトリック聖ヨゼフホームの経営で、特養(定員五十人)を中心として、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプサービス、配食サービス及び在宅介護支援センターと多

なケアプランを六ヶ月毎にたてて介護にあたっている。そうした介護のつみ重ねの中で、重度に近い痴呆の入居者の徘徊もほとんどなくなっているとのことであった。

デイサービスは豊丘村のようなB型を含め、痴呆対応のE型も行っており、E型では二十八人の登録者(平均八十二歳)が週二回平均で利用されている。「サンタ・マリア」の大きな特徴の一つにボランティアの力がある。特に配食サービスは一日百五十五食を毎日行っており、それには百七十一人のボランティアの協力、全体の事業では年間延六千人程の活動で支えられている。

役場西側に建設される振興支援センターの内部施設として、農産物の加工施設、直売施設等計画されているが、その参考にと先進地の視察を実施。一行八名により岐阜県を中心に、視察を行った。

### 一、岐阜県東白川村

人口、三千七百七十六人  
村の総面積 八千七百一十一ha  
山林面積 七千九百二十一ha  
農地面積 三百八十五ha  
山林が九〇%以上の山間僻地  
この施設は第三セクターによるもので、トマトジュースの製造、販売、食の体験工房、宿泊飲食を提供している。

### 二、岐阜県武儀町

人口、四千四百八十五人  
村の総面積六千五百二十七ha  
山林面積 五千八百二十五ha  
農地面積 二百六十九ha

## 経済建設委員会

### 村おこしの先進地

この町もまさしく、山間僻地。下呂温泉と、岐阜市、関市の中に位置し、街道としての地の利を生かし又平成と云ふ元号と同じ地名が全国唯一存在する町として、脚光を浴び、町の活性化推進のため、女優三田佳子さんを、村長に迎え、日本平成村を立村する。特産のしいたけを生かした菓子、椎茸スナックを開発、全国の特産品コンテスト等数々の賞を受賞。第三セクターによる(株)エコピア平成を設立、大量生産全国販売で成功している。

三、岐阜県明宝村  
人口、二千二百二十七人  
村の総面積 一万五千四百八十六ha  
山林面積 一万四千七百六十四ha  
農地面積 二百九十一ha  
この村の一番の目玉は、第三セクターの、(株)明宝レディース。生活改善グループから生れたもので、全員が女性の村おこし会社です。農林産物、トマトを中心に加工販売をしている。その他五社の法人があり、それぞれが活発に活動している。



村おこし施設の視察風景



総務

オウム真理教の入村 絶対拒否を議決

○オウム真理教は、その活動拠点を分散させ、拡大を図っております。つい先頃も隣の喬木村で集会を開くとの情報があり、豊丘村でも安心はしておられません。オウムに対する拒否反応は村民の大多数の意志であると認識するなかで、オウム関係者の入村を防ぐ為に「オウム真理教の豊丘村入村絶対拒否をする決議」が全会一致で可決されました。決議文の主要部分は「平和で安心して暮らせる豊丘村を守るため、豊丘村民の総意をもって、オウム真理教関係者の入村をはじめ、関係施設、活動の場

所の提供などに対してのすべてに、断固阻止する意志表示を明確に宣言し、ここに決議する」というものです。 ○納税者の権利憲章(仮称)を求める陳情を採択 納税は国民の義務ではありませんが同時に基本的人権を守る権利でもあります。税務調査の名のもとに、納税者の人権を無視した行動をとらないような、権利憲章を制定してほしい、という主旨の陳情を採択し、意見書を関係機関へ送付することとしました。

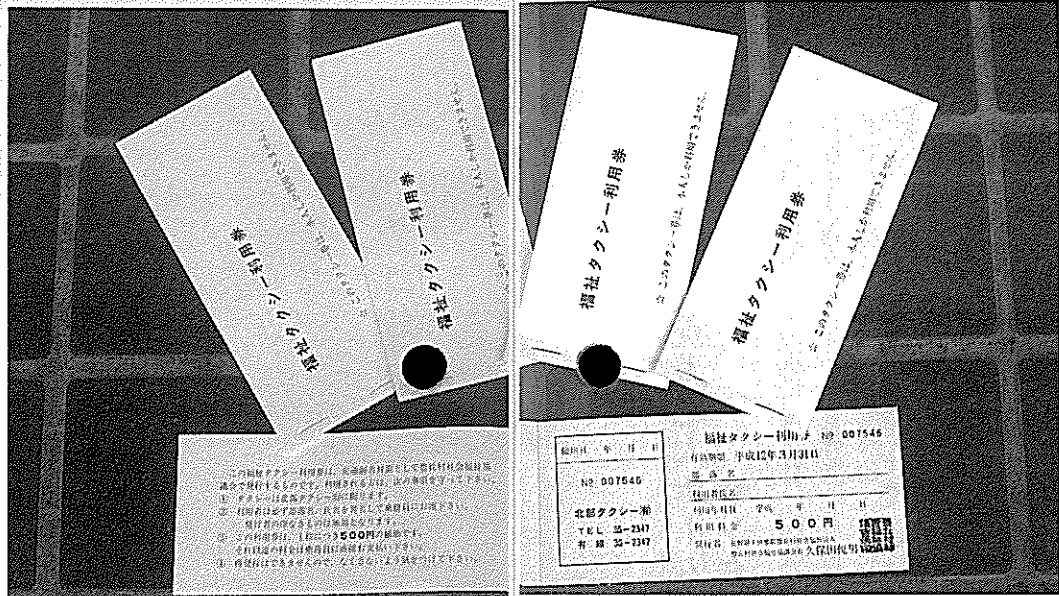
○三十五人学級の早期実現、教職員定数増を求める請願を採択 少子化現象と共にこのままゆくと豊丘村でも来年の中学一年は二学級となり、配分される教職員数は本年より二名減となります。 三十五人学級とすれば現状の学級数は確保できます。 このような豊丘村の現状を直前にし、この請願を採択し政府及び関係機関へ意見書を送付することとしました。(総務委員長 筒井卓徳)



オウム集会のウササされたキャンプ場(喬木)

だより

委員会



喜ばれるタクシー券

券の追加 対策＝

九月の定例議会補正予算に今回社会福祉関係でタクシー券の配布分として三百万円の予算が追加されました。そこで老人家庭で自動車の運転ができる人がいない家、一人暮らしの方と身体障害者で以前よりタクシー券の配布をされていた方を対象に追加配布されます。地域別には、下段が一・中段が三・上段が五の割合でくばられます。

陳情と意見書の提出

○安心してできる介護保険にする為  
一、低額年金者、低所得者に対する保険料の減免制度を拡充し

タクシー 交通弱者

社会

て下さい。 二、利用料が払えないため「介護辞退」などする人のないよう利用料の思い切った減免や助成の制度を作ってください。採択 ○難病患者等を福祉医療給付制度の対象とすること 現在国及び県として特定疾患として四十八疾患が認定されており、これ以外の疾患は調査研究中であり不採択としました。

○保育施設の拡充を求める意見書の提出、多様な保育ニーズに対応する質の高い保育サービスの提供など児童福祉法の改正の趣旨に基づいて保育施設の充実を図ること又二十年以降も保育対策事業を継続するためその財政支援を講じること 内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、自治大臣、に提出する。(社会委員長 鹿角鐵男)

建設

一貫道、商業拠点づくり動く

二十年度決算書から

○一貫道田村地区始まる 永年の懸案でありました。一貫道の田村地区での取り組みが始まりました。

○役場前商業中心地づくり 交流支援センター、JA店舗等新しい商業、交流活動の中心地として役場前に造成工事が始まりました。

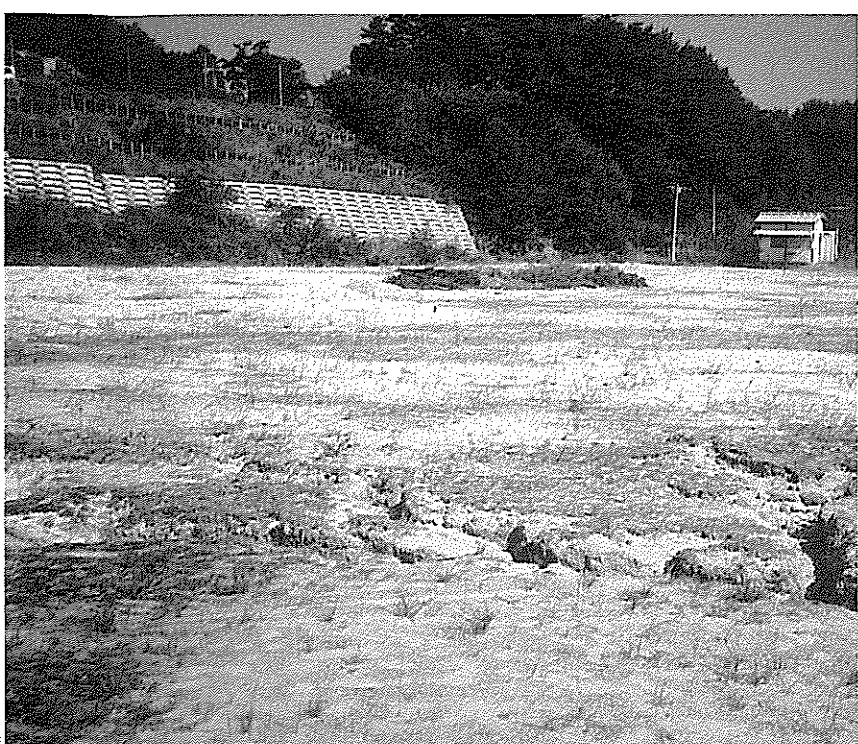
○産廃処理センター埋め戻し 掘越地区にあった産廃処理センターが、十年六月に満杯になり埋め戻しがされました。

○森林組合事務所建設 事務所、販売所が併設されて新庁舎北側に建設されました。

○女性グループ活動支援 役場横に交流支援センター、加工施設等建設される予定があり、それ等を有効活用する各種女性グループの支援を始めました。

への取り組みが力強く始まりました。また女性グループも拠点づくりに向けて、意欲的な活動を始めました。(経済建設委員長 奥山義臣)

- 十年度の特徴として ①松喰虫被害の増加傾向止らず ②異常高温等農産物打撃 ③不況の影響中高年者リストラ ④高森町へのアピタ進出 等々、商工農いずれも厳しい年となりました。従って各種の支援事業もなかなか展望が開けてきません。



埋立終了の掘越産廃処分場



# 完成が待たれる 田村中心部一貫道



生まれ変わる新道交差点

待望久しかった、一貫道田村中央部が、地権者、関係者の理解とご協力により、地元説明会も終り、十二年度末（十三年三月）迄の完成をめざし着々と工事が進められております。

中心的地点として、豊丘村の将来の発展が約束されることは間違いありません。

一貫道の完成と早期供用開始は村民の待ちこがれる願望でもあり、行政が村民に対する約束ごとでもあります。

河野の先線そして橋梁等一貫道の継続事業はまだまだ取り残されており、私共議会も行政においても、一段と意を高め、関係官庁へのはたらきかけを強力に押し進め、一貫道全面完成にむけ大きく前進致さねばなりません。

更には豊丘村の中心部である庁舎付近一体の、開発も進み村の商業ゾーンとして、又行政の

## 一般廃棄物最終処分場 建設の検討経過について

前号で第一回の研究委員会の経過をお知らせしましたが、その後第二回を七月十三日に開催し、松川町（生田）と喬木村の施設を視察、当村での基本的方針について検討しました。

その中で、浸出水の処理方式から下水道への連結方式をとることを基本に候補地を選定することにしました。

九月三日に開催された第三回研究委員会は、候補地の選定を委託した業者から村内六ヶ所の候補地について、それぞれの選定理由や長所、短所等の説明を



場所決定が待たれる処分場

◎議会議会だより第五号をお届けします。

### 編集後記

九月議会は、十年度「決算の認定」が重要案件であります。予算執行が適正にされたかどうか、行政効果や経済効果を評価する意味があります。決算特別委員会の審査結果は、来年度予算編成や行政執行に生かされる審議内容でありました。

決算は執行済みの事と見過ごす事なく、住民の皆さんにも注目いただきたい事です。

◎「とよおか議会だより」が平成十一年度「長野県町村議会広報コンクール」に参加したところ、初参加としては印象がよいと言う事で「奨励賞」をいただきました。

講評では、ミニ辞典の企画がよい。要旨掲載で読みやすい。レイアウトがよく写真が生き生きと、表紙の写真がよい。創刊二号としては努力を評価する。と言う事です。二十五点参加の入賞です。この栄誉をバネに、読みやすい、わかりやすい、編集に努力してまいります。

◎先の国会で、対等、協力を柱とする「地方分権一括法」が成立した。地方自らの力と責任の問われる時代の幕あけです。